

進捗状況

1.ガバナンスの改革と推進

- コンプライアンスとガバナンスの感度を高めるため、全社員の会計リテラシー向上を重要課題と捉え、不正会計をテーマとした事例研究会を実施中 (1.(1)-b,1.(4)-b)
- CxOによる社員との対話の場を設け、直接的にメッセージを伝える取り組みを継続 (1.(3)-a)

2.リスク管理体制の強化

- 2024年3月期リスク管理に係る基本方針および年間活動計画に基づき、部門CRO（本部単位のリスク管理責任者）、リスク主管部門（第1.5ライン、第2ライン）、およびガバナンス・企業文化諮問委員会との連携も図りながら各種施策を推進。その活動状況については主要リスク情報と共に経営委員会に対して四半期報告を実施した。(2.(2)-c、2.(2)-e)

3.業務執行に係る体制及び社内体制の強化

- 各組織間（営業部門と技術部門及び購買部等）の業務執行に関わる体制強化のために設置した各会議体を継続して実施 (3.(1)-a)
- 内部統制強化及びチェック・フォローアップ体制強化の為に会議を管理部門間で、継続的に実施 (3.(2)-a)

4.監査体制の抜本的な見直し

- 2024年3月期 内部監査方針・計画に基づき、組織別内部監査、フォローアップ内部監査を実施中。及び、11月度取締役会へ内部監査上期取組を報告(4.(1)-b)
- 2024年3月期J-SOX評価計画に基づき、統制文書更新が8月末で完了。PLC（業務プロセスに係る内部統制）整備評価およびCLC（全社的統制）評価が完了し、FSCP（決算財務報告プロセスに係る内部統制）評価、IT統制評価を実施中(4.(3)-a/b)
- J-SOXの理解促進のための研修計画の策定、研修コンテンツの準備が完了、12月より研修を実施中(4.(3)-d)
- 2024年3月期においても監査等委員会施策である、取締役・内部監査室との定期意見交換、不正事案に対する研修への参加を継続的に対応中(4.(4)-a/b/c)

5.従業員の声を集める仕組み

- 匿名でも双方向のコミュニケーションを可能とする「内部通報プラットフォーム」の本番運用を開始し、従業員からの通報・相談へ対応中 (5.(1)-a)
- 第三者を窓口とする目安箱について、建設的かつ具体的な声を集めることを目的とした新ルール下において運用中(5.(2)-a)

6.組織文化の改革・形成

- 企業理念浸透を促す機会を増やすことを目的に、第2回ビジョンデイを12/12に企業文化改革活動メンバーにて開催(6.(2)-d)
- 理念体系を踏まえた行動宣言をもとに上司と個別面談を継続して実施 (6.(2)-e)

7.会計リテラシー教育及び過去不祥事からの学び、啓蒙

- 2024年3月期の会計リテラシー向上・会計知識教育STEP 3を開始。STEP 2までの内容を受講していない受講対象者は教育を継続中。(7.(1)-a)
- 失敗事例からの学びに関する業務ルール説明会やワークショップ、失敗事例の共有について一部改善を加えながら、継続して実施 (7.(3)-a)

8.モニタリング体制の継続

- 継続的な内部統制システムの強化に向けて整理した活動方針に従い、活動計画を策定。社内への公開を実施 (8.(2)-a)